

# 【徹底解説】生成AI特許侵害訴訟の軌跡と終結： パテント・インテグレーション vs Patentfield

## 2024年：紛争の勃発と多面的攻撃



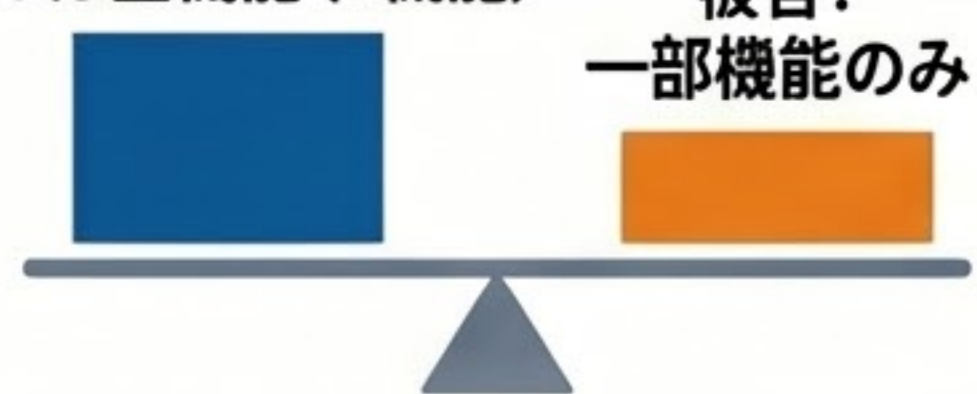
9月：警告書の送付  
(2週間回答期限)



10月～12月：計6件の連続提訴  
(4特許、分割出願、登止・換審対応)

原告：Patentfield AIR  
のほぼ全機能(7機能)

被告：  
一部機能のみ



主張対象範囲の食い違い



役員個人への責任追及  
(会社法429条に基づく損害賠償)



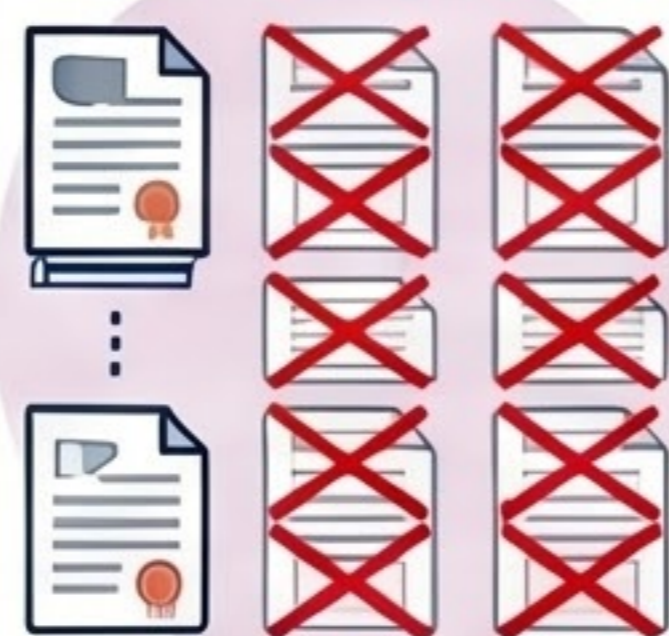
## 知財戦略の応酬



特許ファミリー同時多面攻撃  
(分割出願、種数特許、同一製品の異なる機能ターゲット)



相手方特許へのカウンター  
(真議申立て)



全14請求項中12請求項に  
取消理由通知  
自社ツール「サマリア」を  
従来技術として



広範な権利主張  
独立請求項10個、許65個の  
請求項



国内初の「生成AI×特許ツール」分野における大規模訴訟の経緯、争点、  
そして「17条決定」による決着の内容を視覚化し、  
知財実務者やスタートアップに教訓を提示すること。

## 2026年4月：17条決定による終結



民事調停法17条決定(17条決定)  
(裁判上の和解と同一の効力)



2026年4月17日：  
全事件の終了  
(全6事件継続)

サービスの継続  
(副品差止には差らず、内容非公開)

## 訴訟対象となった原告の5つの主要特許 (生成AI技術の権利化と訴訟の武器)

第7579555号



特許文書への分類  
付与と視認の能力  
(生成AIによる回  
速度判定)

第7578348号



特許文書の特定  
部分を指定して生  
成AIで検閲(回  
面を用いた分類等)

第7542812号



プロンプト作成負  
担を軽減する技術  
(指示文とタスク  
の組み合わせ)

第7493195号



用語解説を行い  
高品質な要約を  
用いて拘束データ  
を生成する技術

## 実務的示唆と業界への影響



判決回避による  
先例の不在  
技術防戦・退歩性のベン  
チマーク形成は持ち越し



防御策としての  
リリース遅延  
強力な防御武器



リスクマネジメント  
の重要性  
警告書対応、D&O保険  
の必要性